

IPCCの温暖化仮説は「完全崩壊」へ！

科学は嘘をつかない。でも科学者は嘘をつく

- SDGsエコバブルの終焉
- 杉山大志編著 宝島社
- 2024年6月14日発刊



雲画像 by NICAM at CCS

筑波大学名誉教授 田中博

「第3章 地球温暖化仮説の崩壊」

「パリ協定」

2015年にパリのCOP21で採択された「パリ協定」によると、地球の気候は危機に瀕しており、**脱炭素化**は最重要課題である。産業革命後の気温上昇は**1.5°C以下**に抑えねばならず、そのためには温室効果ガス排出量を2030年に半減、2050年にはゼロにしなければならない。

地球沸騰シナリオ (再考)

- (1) 化石燃料など人為起源のCO₂放出で大気中のCO₂が増加 ？
- (2) 増加したCO₂の**温室効果**で気温が上昇。海水温も上昇 ？
- (3) 人為起源の温暖化で異常気象が激甚化し被害がでる ？
- (4) 温暖化が**1.5°C**を超えると暴走し、コントロール不能な**灼熱地獄**になる？
- (5) よって、**脱炭素**を最優先課題とし地球温暖化を止めねばならない ？

以上の説明は本当ですか。 すべて間違っていますよ！

間違いだらけの 地球温暖化論争 (故里村氏の案)

そのメカニズムと不確実性

公益社団法人 日本気象学会 地球環境問題委員会 [編]

地球温暖化現象の正しい理解のために
「IPCC 第5次報告」などを踏まえ
日本の専門家が総力で
最新の知識を正確に伝える

朝倉書店

日本気象学会 地球環境問題委員会

地球温暖化
そのメカニズムと不確実性 (2014)

温暖化危機論にも懐疑論にも問題あり
学会として多様な見解をまとめる案

「間違いだらけの地球温暖化論争」
故里村雄彦氏 (京大) のタイトル案

脱稿直前に、IPCCメンバーによる査読

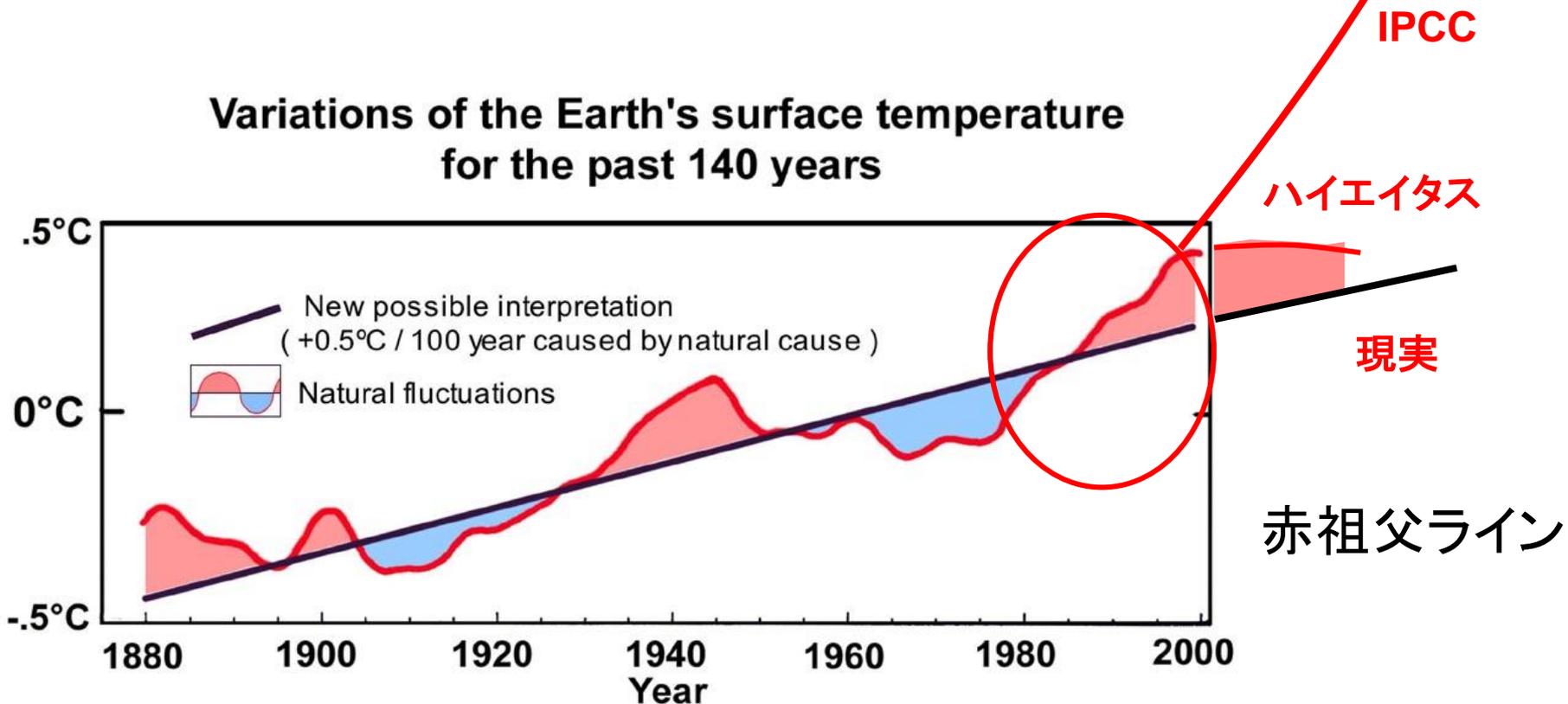
IPCC報告に記載されていないことは、
根拠のない推論。完全削除。

「温暖化の半分は自然変動」は削除

IPCC報告書の日本語訳本になった。
学会としての自殺行為

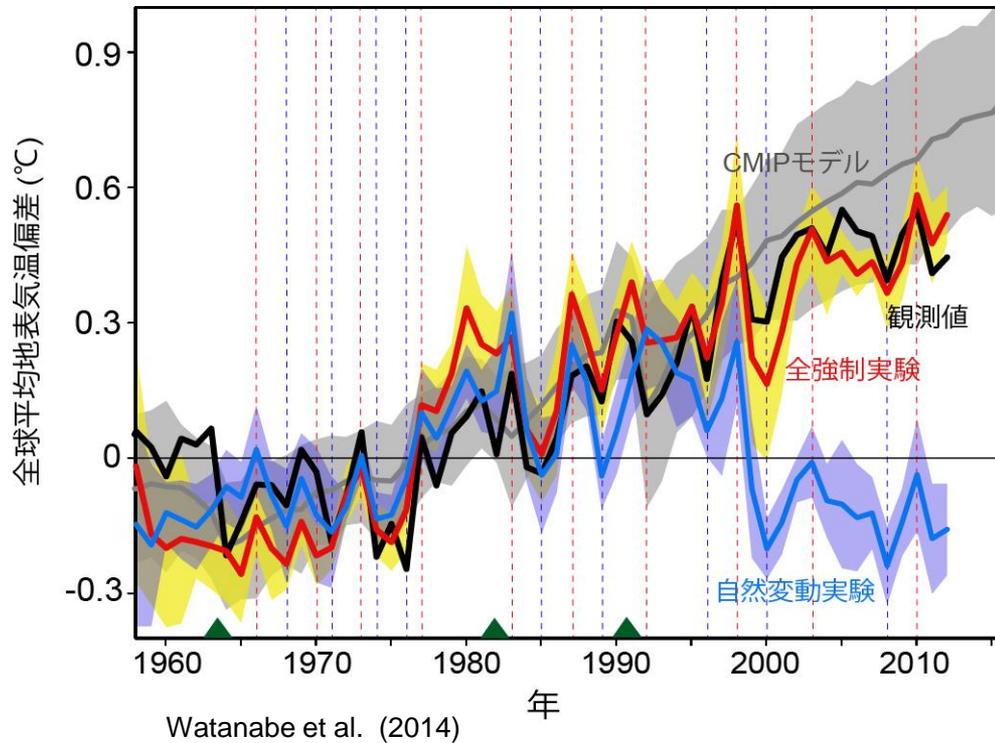
疑問 1 : 温暖化トレンドの半分は自然変動だ !

本来、予測不可能な自然変動 (AO) による1970-2000年の自然変動を、温室効果 (Ice-Albedoフィードバック) でチューニングした将来予測は過大評価になっている。(費用対効果に多大な影響)



赤祖父ライン : 温暖化の大部分は自然変動。(100年で1°C)

「地球温暖化が示す不都合な真実」 気象庁講堂 予報士会記念講演 (2010)



ハイエイタス： 地球温暖化に自然変動が重なり、温暖化が15年間
停滞した。つまり、温暖化の半分は自然変動だ！

(懷疑論を主張)

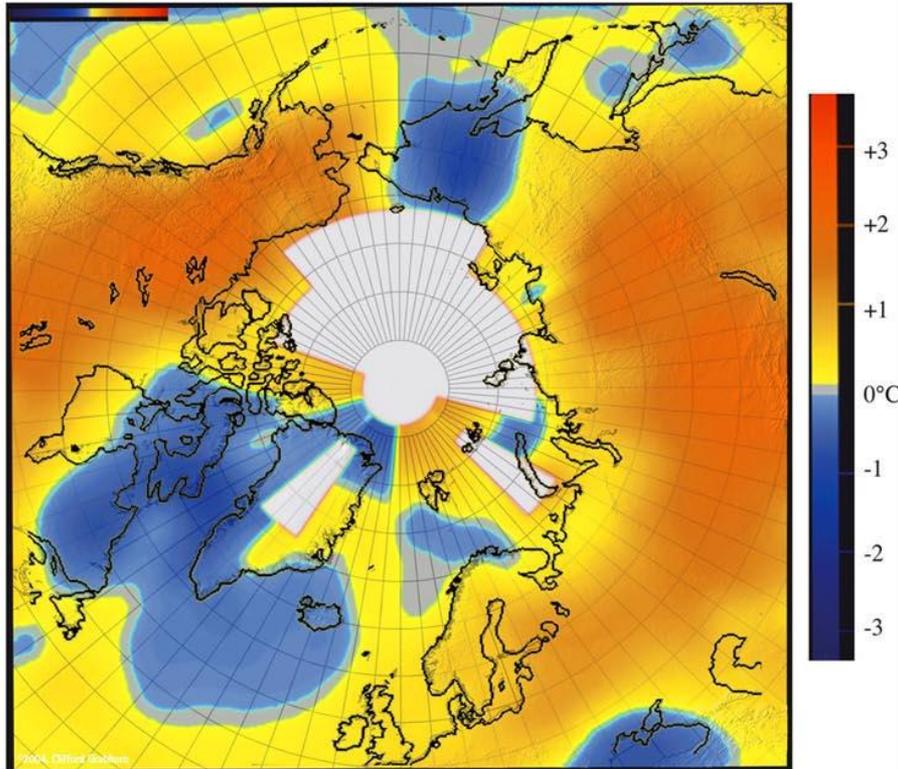
Climate Gate事件 2009

M.Mann のホッケースティック図をめぐる疑惑が浮上

(2009年 米国上院議会公聴会 by Akasofu)

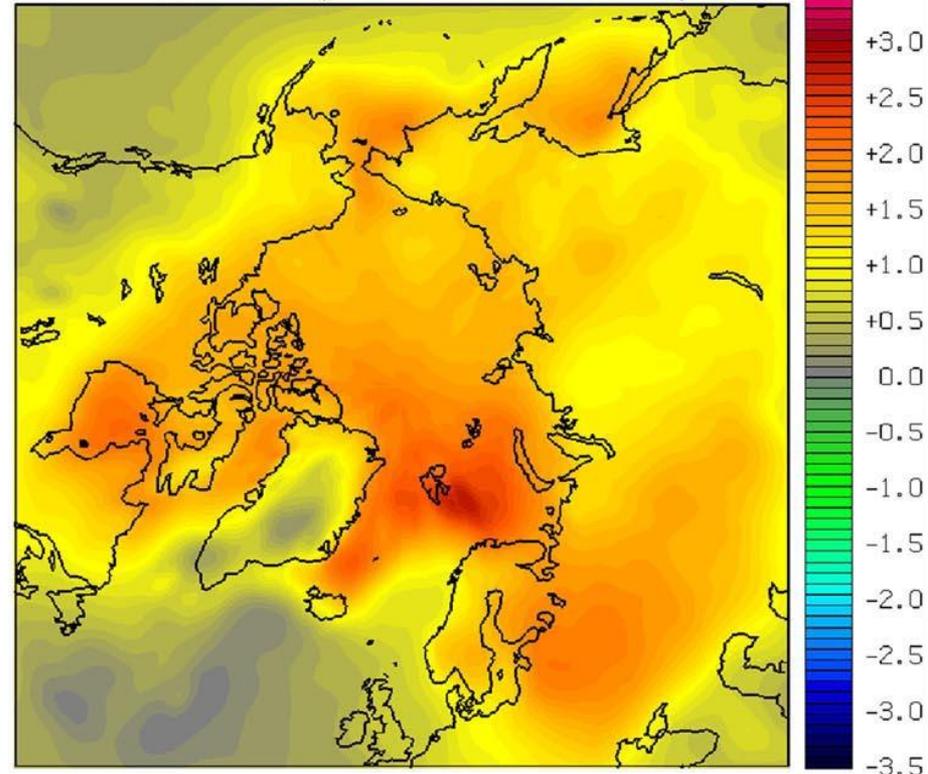
観測 1954-2003 地上気温のトレンド IPCC AR4 気候モデル

Observed Surface Air Temperature Changes:
1954-2003 (WINTER: Dec-Feb in °C)



北極振動パターン

IPCC AR4 14-GCM comp. linear sfc.air.temp.change
1951-2000 (WINTER: Dec-Feb in °C)

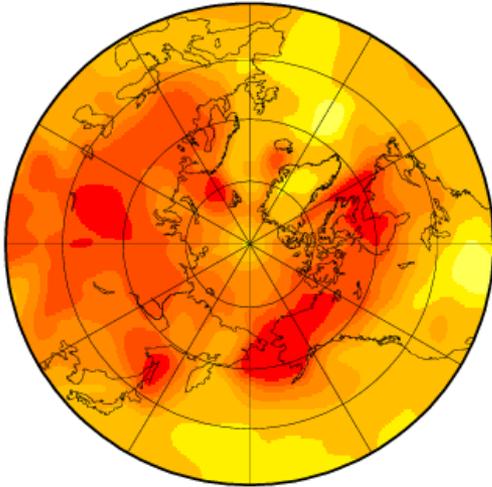


北極温暖化増幅パターン

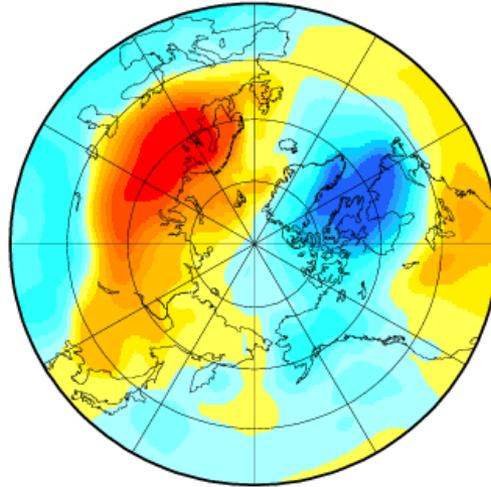
地球温暖化が示す不都合な真実 (空間分布の不一致)

IPCCモデル

EOF-1 (32.7 %)

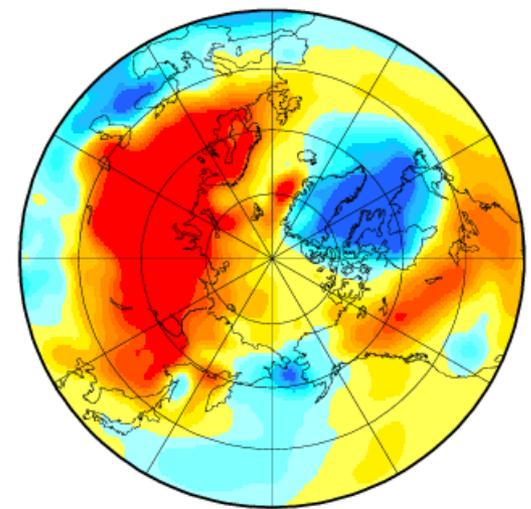


EOF-2 (13.4 %)



現実大気

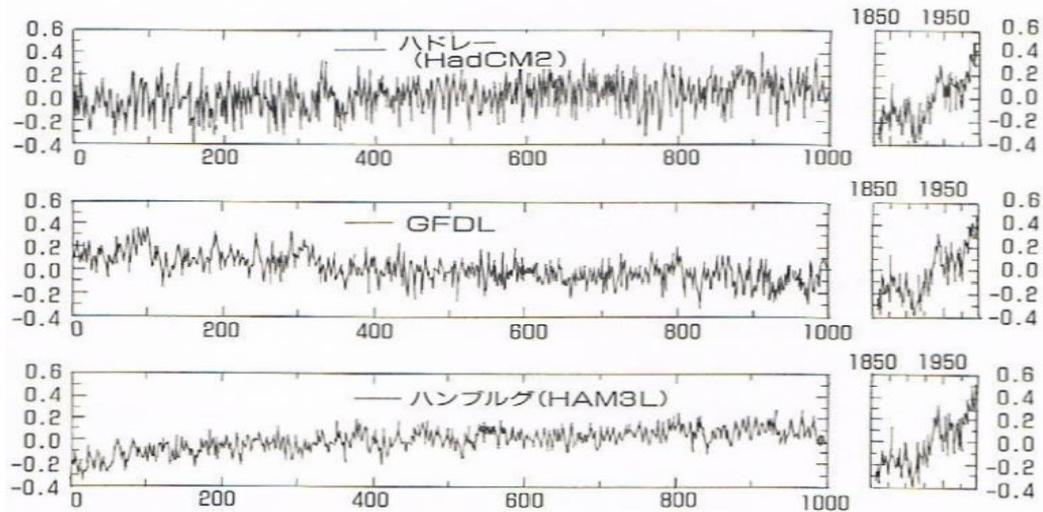
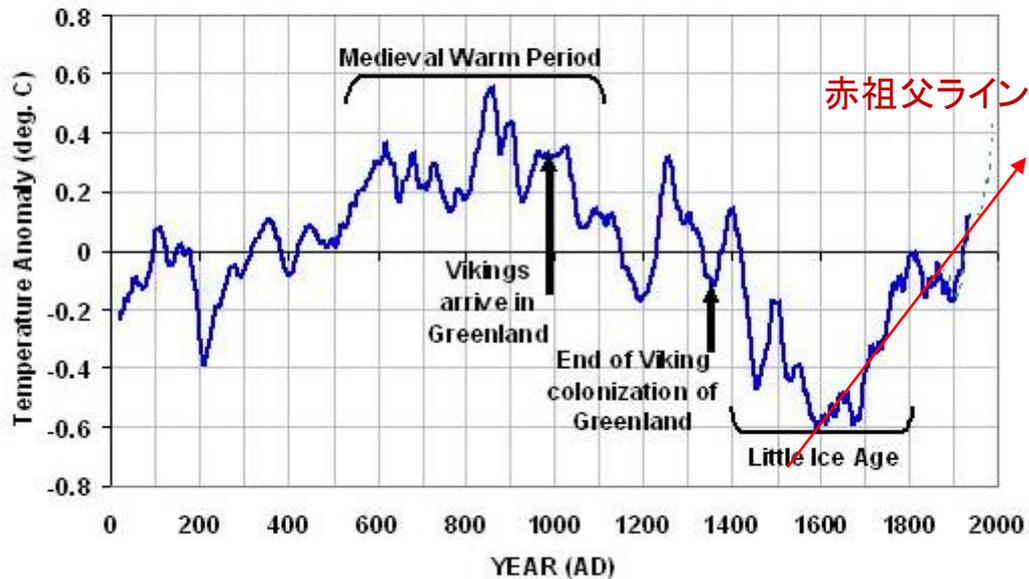
EOF-1 (23.3 %)



- 現実の温暖化トレンドは北極振動という自然変動により生じているのに、モデルでは人為的温室効果による北極温暖化増幅で温暖化させている。
- 現実大気の自然変動をモデルは再現できないので、モデルでは温暖化を人為的温室効果で再現している証拠。
- 気候モデルでは人為起源の温暖化が過大評価されている。

過去2000年の気温変動

2,000 Years of Global Temperatures



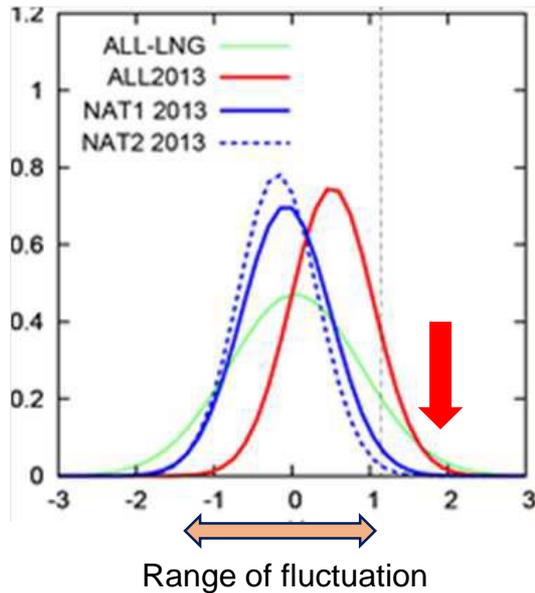
温暖化の半分は自然変動としたが、長期トレンドも自然変動なら温暖化のほぼすべてが自然変動になる。温暖化はCO2が原因でない。赤祖父 (2008)

図2 気候モデルによる過去1000年間の気温変化と近年の温暖化 (近藤 2003)

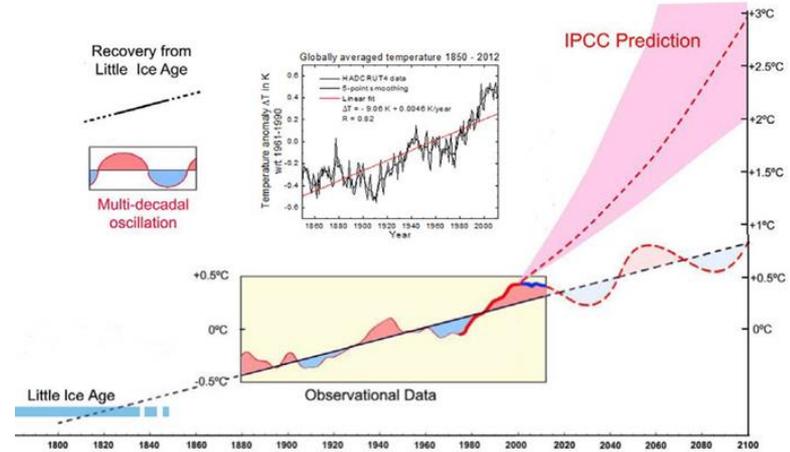
疑問 2 : 異常気象は人為起源の温暖化が主要な原因ではない。

イベント・アトリビューション

2018年夏の猛暑は、地球温暖化（人為起源）がなければあり得ない高温であった。

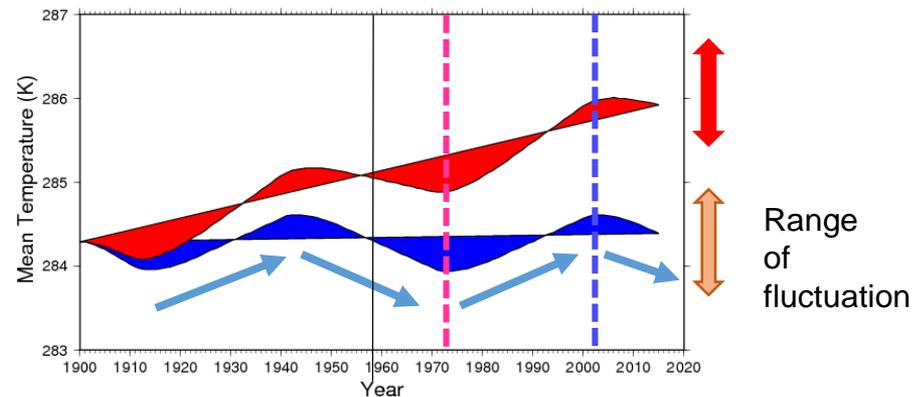


Summer of 2013 Japan
(Imada et al. BAMS)



赤祖父ライン (100年で1°Cは自然変動)

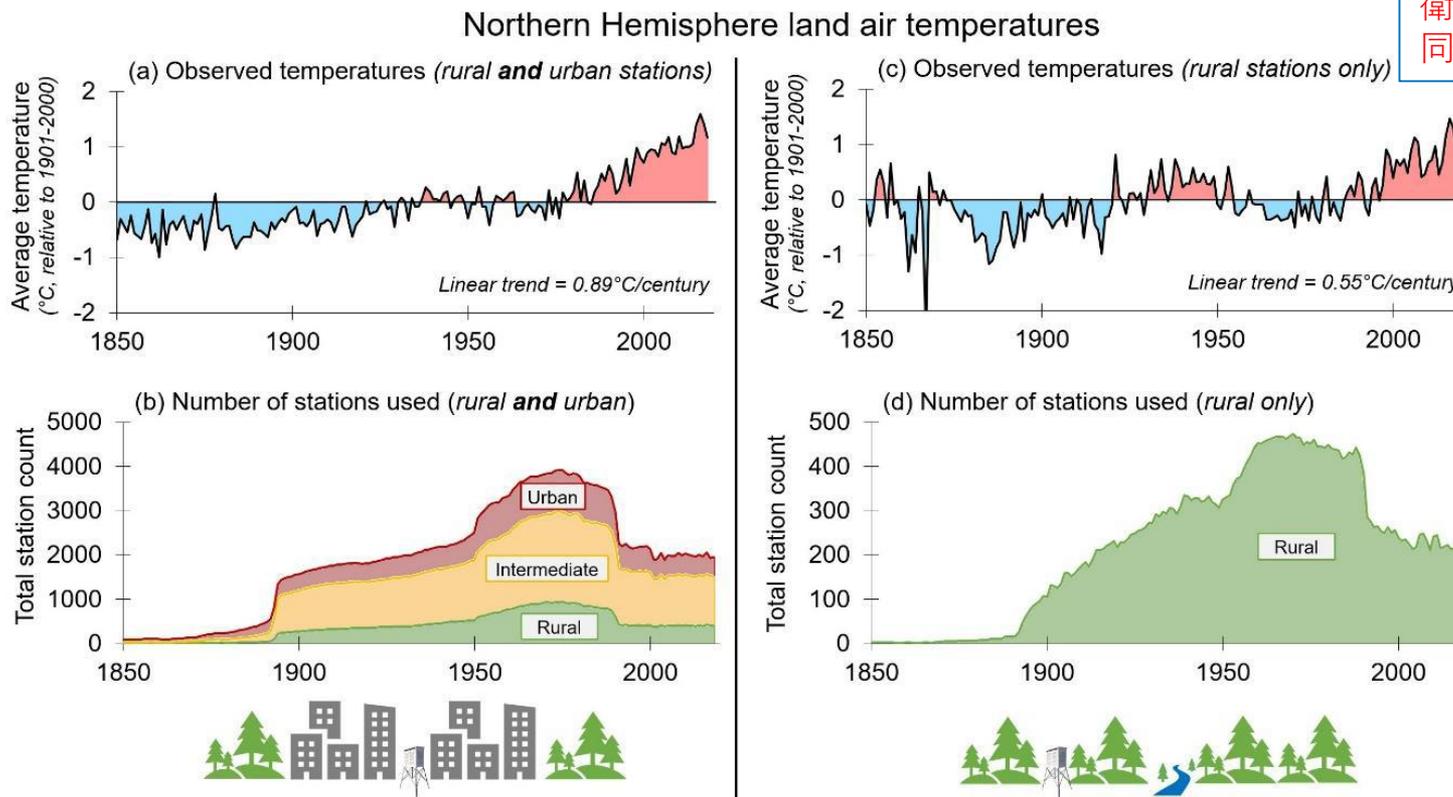
N. H. Mean Temperature with Linear Trend
Two Box Energy Balance Model



温暖化ありとなしの比較。この温暖化はモデルでは人為起源。
温暖化は人為起源ではなく自然変動で生じている。

疑問 3 : 地上気温の観測には都市化の影響がある ?

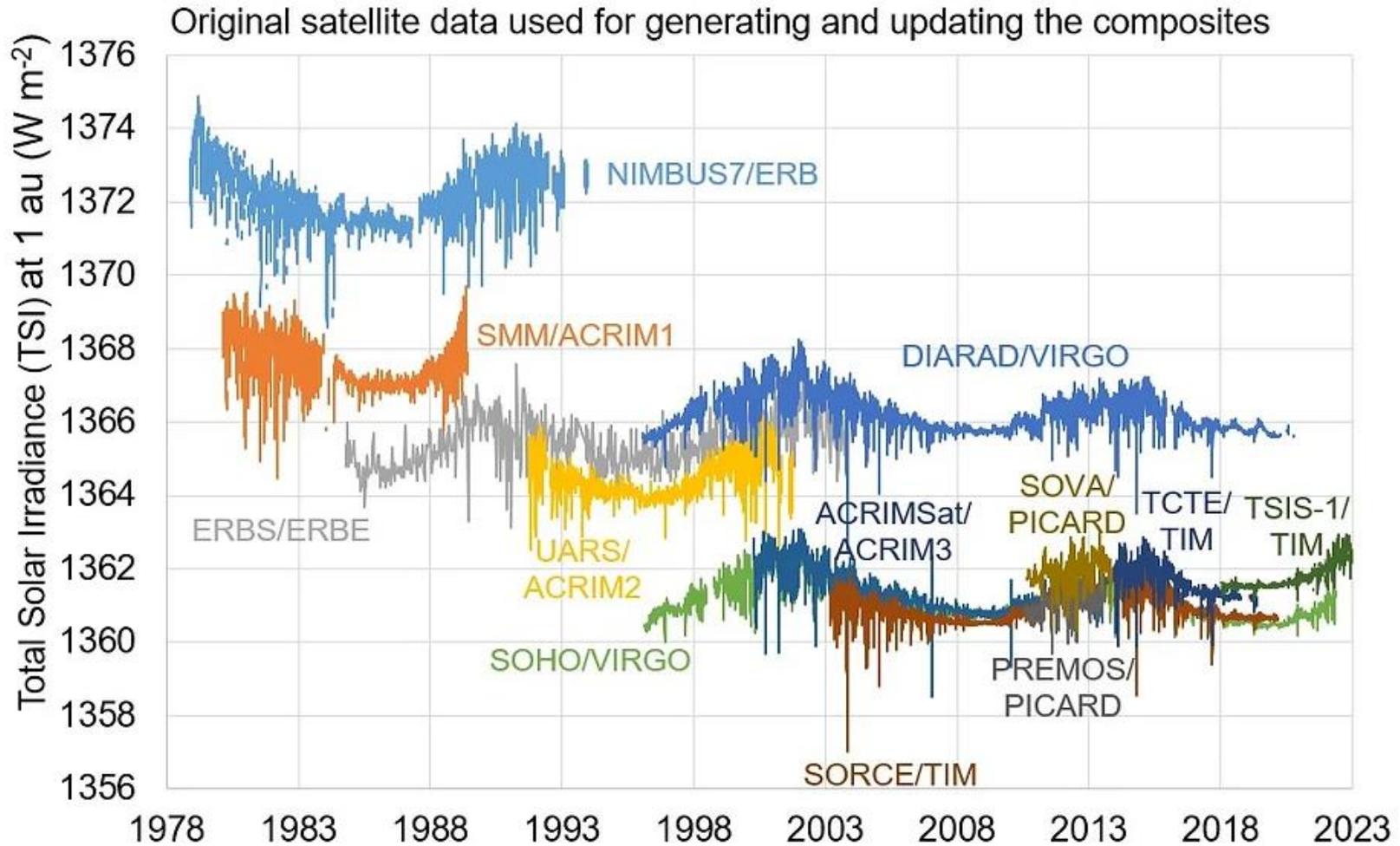
地上観測 4000点から郊外のみ 500点で集計するとトレンドが減る



Soon et al. (2023) with H.L. Tanaka and S. I. Akasofu

都市と田舎で $0.89^{\circ}\text{C}/100\text{y}$ の温暖化が、田舎のみで $0.55^{\circ}\text{C}/100\text{y}$ に半減する。

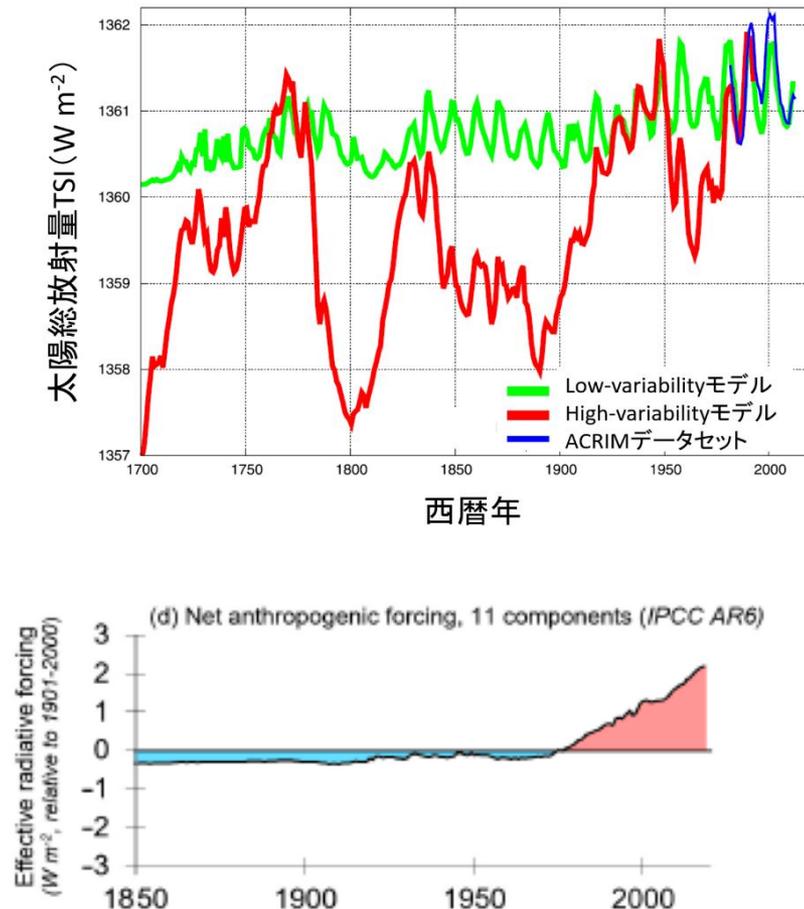
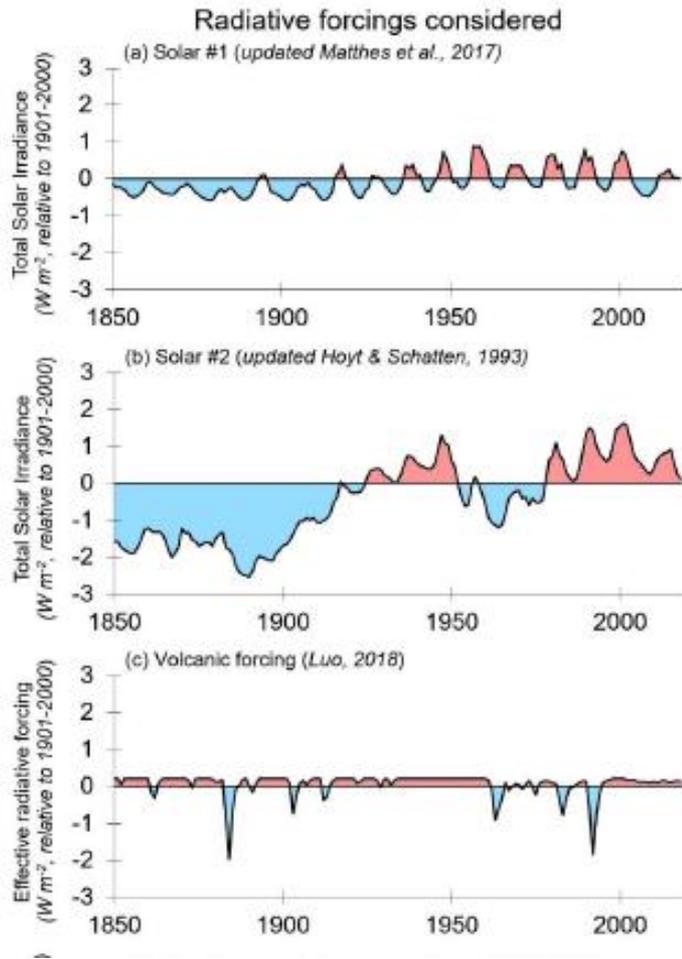
疑問 4 : 太陽定数 s_0 は定数でない。



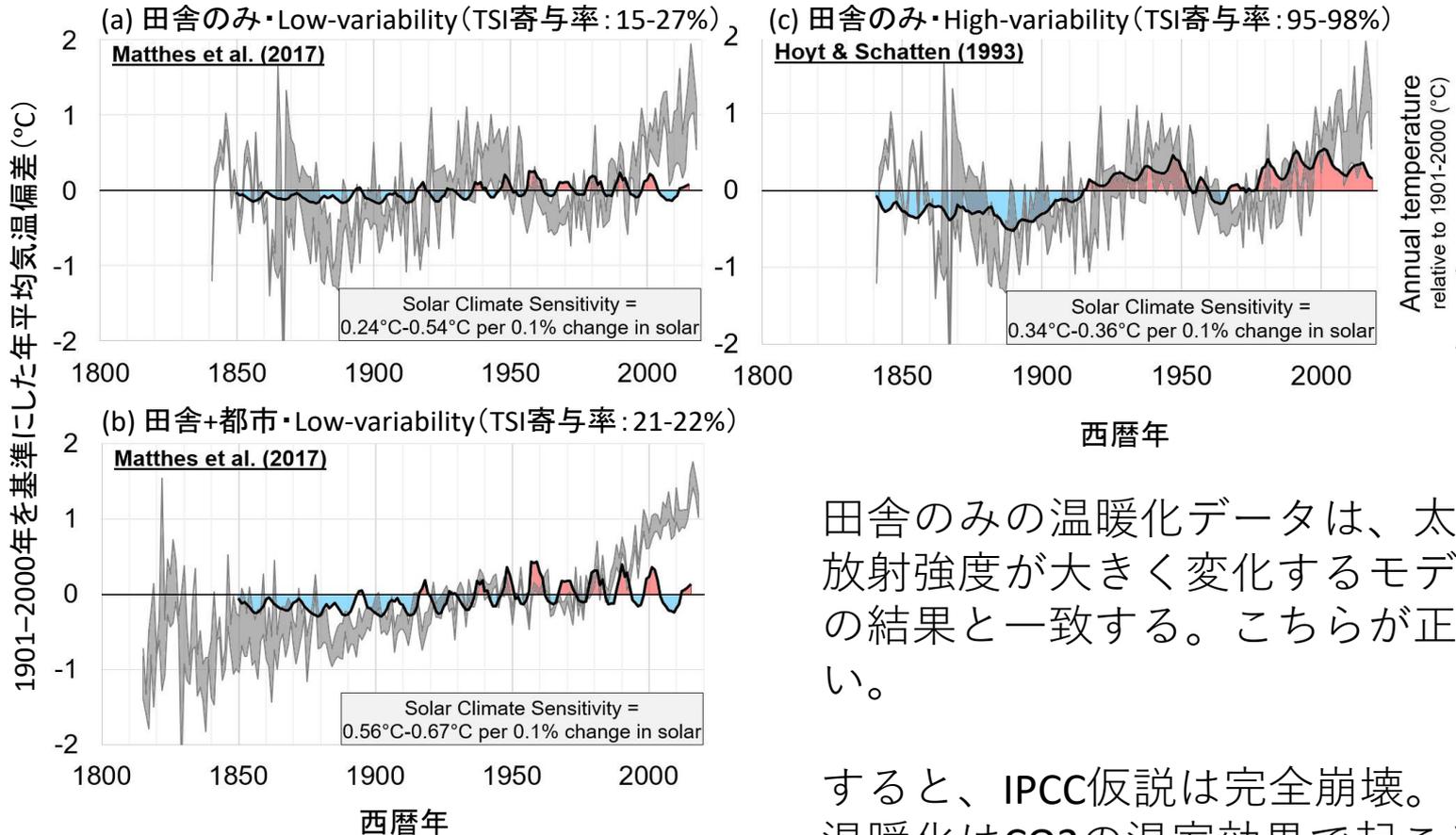
1978年から人工衛星で太陽放射強度(TSI)が観測された。
平均バイアスを調整して時系列をつなげる。

Soon et al. (2023 田中も執筆者) : 近年の温暖化は自然変動で説明可能

Maunder Min 期間の S_0 は今より小さかった。しかしIPCCは S_0 定数を採用。JMAも。 S_0 定数を仮定したら、長期的自然変動が 0.1°C 程度は当然。 S_0 は一定に疑問。



Soon et al. (2023)



太陽放射強度は一定と仮定したので、温暖化は人為起源のCO2の増加で説明された。(IPCC AR4)

田舎のみの温暖化データは、太陽放射強度が大きく変化するモデルの結果と一致する。こちらが正しい。

すると、IPCC仮説は完全崩壊。温暖化はCO2の温室効果で起こるのではなく、自然変動で起こる。

温暖化はCO2の温室効果が原因という証拠 IPCC AR4

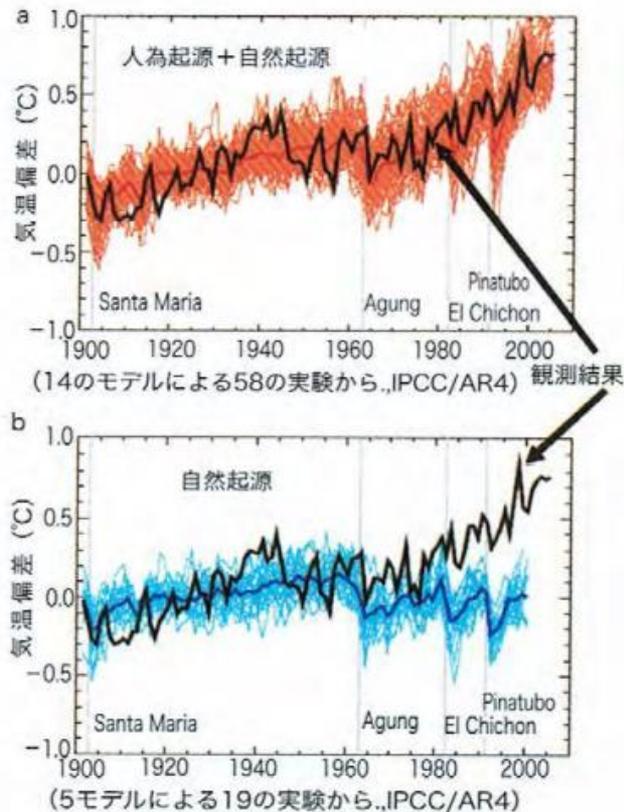


図1 IPCC報告による人為的地球温暖化の検証実験 (近藤 2009) [3]

反論：

太陽放射強度は一定と仮定したので、温暖化は人為起源のCO2の増加でチューニングされた。

温暖化を人為起源のCO2の増加でチューニングしたモデルから、CO2の増加を取り去ると温暖化しない、ということ。何の証拠にもなっていない。

温暖化が自然変動なら
IPCC仮説は完全に崩壊する

疑問 5 : CO2を削減しても温暖化は止まらない？

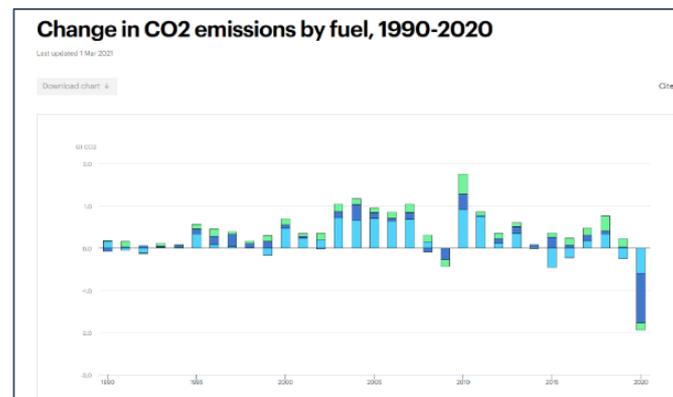
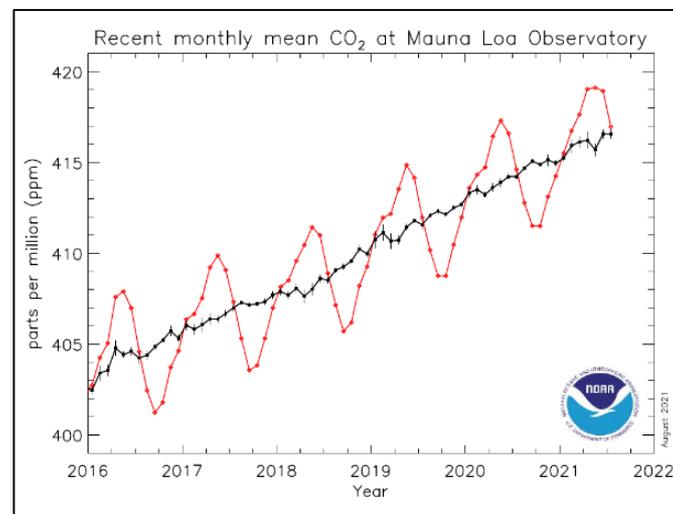
COVID-19で人為的炭素放出が7%も減ったのに！

- ・ 2020年、COVID-19で人為的CO2放出量が7%も削減された。しかし、CO2濃度は過去最高を記録し、増加率に変化はなかった。

- ・ 人為的CO2放出量をゼロエミッションまで削減しても、CO2は減らず温暖化は止まらないことになる。

- ・ CO2の変動は海水温の変動と高い相関にあり、海が原因でCO2が変動している可能性がある。

- ・ 10年スケール：El Niñoで気温が変化 → CO2
- ・ 1万年スケール：気温が変化 → CO2
- ・ 100年スケール：CO2 → 気温が変化 逆??



疑問6：地球温暖化が 1.5°C を超えると、Tipping pointを超えて暴走し人類は滅亡する。

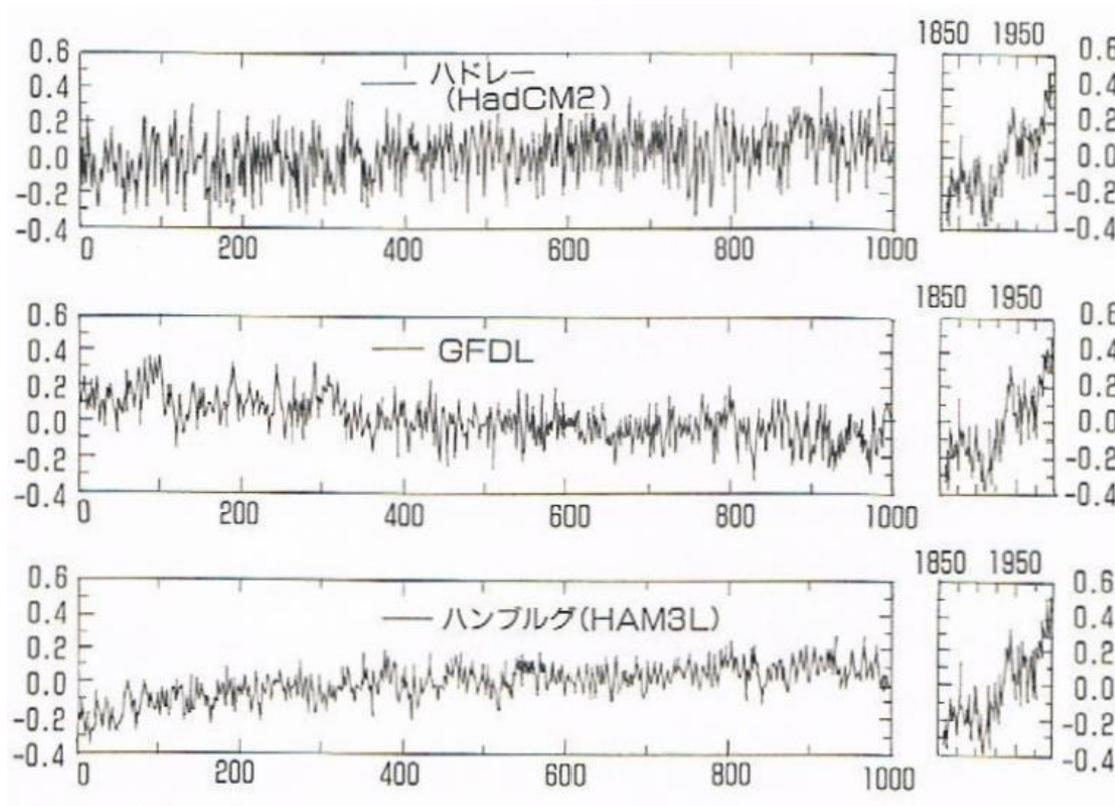


図2 気候モデルによる過去1000年間の気温変化と近年の温暖化 (近藤 2003)

流体のゆらぎ

不安定で増幅しても、乱流で安定化する

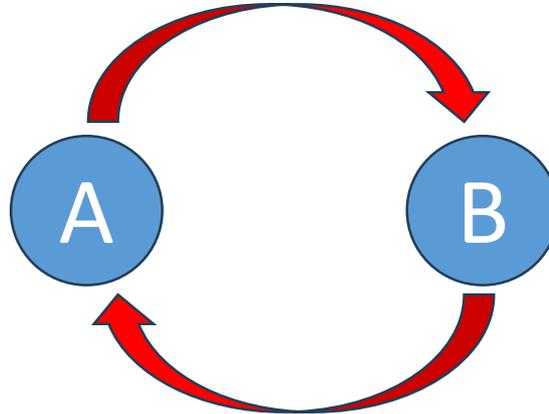
大きなゆらぎが異常気象となるが、暴走はしない。

ゆらぎがティッピングポイント(1.5°C)を超えると温暖化が暴走する。
これは気候モデルの話で現実とは全く違う。

気温が正のフィードバックで暴走するとは？

Aが原因でBが変化する。

Bが原因でAが変化する。



$$\frac{dB}{dt} = A$$

$$\frac{dA}{dt} = B$$

$$\frac{dA}{dt} = B - B^2 - B^4$$

$$\frac{d^2A}{dt^2} = A$$

例： 温度上昇で水蒸気が増える。水蒸気の温室効果で温度が上昇する。
暴走： 水蒸気の温室効果で気温が暴走し、金星大気のようになる。

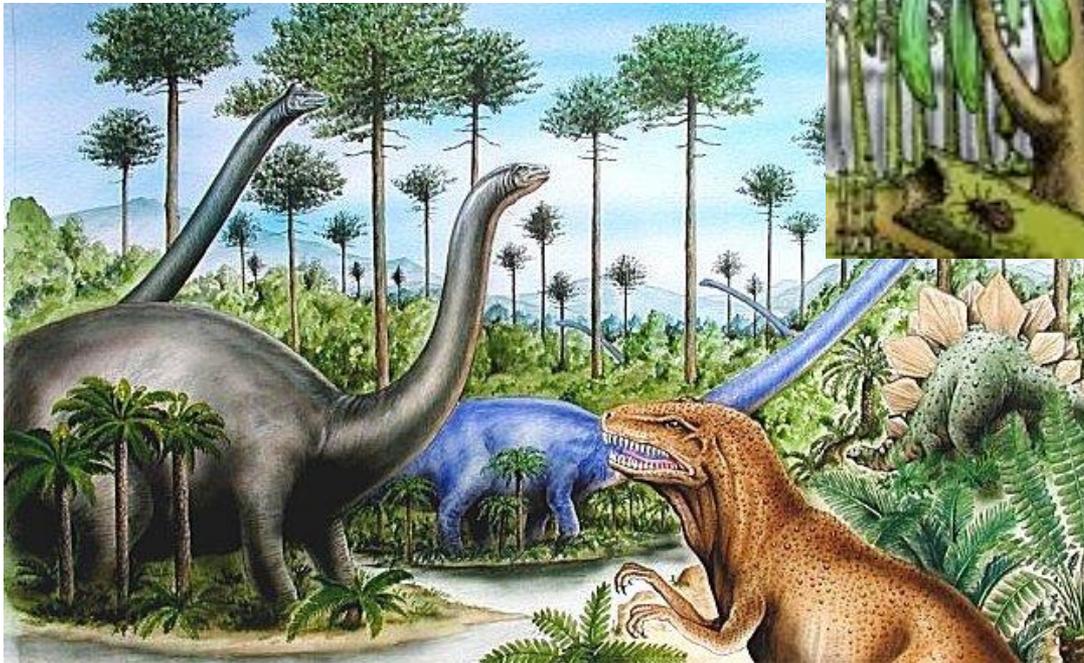
温暖化の暴走は変数の2次の項である熱輸送（乱流）が止めます。
さらに、放射冷却は温度Tの4乗で暴走を止めます。内部変動の幅と同様にティッピングポイント(1.5°C)もモデル依存量なので意味がない。

古生代・中生代の気候

今より13°Cも気温が高かったのに、温暖化の暴走など起きなかった。

コルダイテス
葉の長さ1m!
の裸子植物

高さ30mはある巨大シダ植物
封印木 鱗木



気温が1.5°C上昇すると
温暖化が暴走するは脅
しである。
気候危機など存在しな
い。（世界気候宣言）

<http://girlschannel.net/topics/843929/>

地球沸騰シナリオ（再考）

- (1) 化石燃料など人為起源のCO₂放出で大気中のCO₂が増加 **××**
CO₂の増加は人為起源ではない。自然変動（海水温と連動？）。
- (2) 増加したCO₂の温室効果で気温が上昇。海水温も上昇 **××**
太陽放射強度の自然変動が温暖化の主な原因。温室効果ではない。
- (3) 人為起源の温暖化で異常気象。が激甚化し被害がでる **××**
異常気象は自然変動で起こる。人為起源ではない。
- (4) 温暖化が1.5°Cを超えると暴走し、コントロール不能な灼熱地獄になる **××**
温暖化が暴走することはなく人類が滅亡することはない。
- (5) よって、脱炭素を最優先課題とし地球温暖化を止めねばならない **××**
温暖化は自然変動なので脱炭素は無意味。気候危機など存在しない。

以上の説明が全部間違いであることを示しました。

以上は#ClimateTheMovie 2024で確認可能です。米国では共和党が同意する内容です。

地球温暖化説の崩壊

- 相手がサイエンスで脅して来たら嘘が含まれていると思え。
温暖化のサイエンスの議論は終わった。今すぐ脱炭素に向けて舵を切らないと、取り返しのつかないことになる。（地獄に落ちる。）
- 「IPCC仮説の崩壊」温暖化の大半は自然変動だ。CO2温室効果ではない。
- 米国が「パリ協定」を離脱したら、日本も即座に離脱せよ。
- 気候危機は存在しない。「世界気候宣言」CO2は温暖化の主要な原因でない。
- 気候科学者 > 政治家 > マスコミ > 世論 > 脱炭素 > エネルギー高騰 > 国民疲弊
環境基本法 エネルギー基本計画 賦課金 物価上昇
- 脱炭素財源10年で150兆円。むらがる業界財界、中国ぼろ儲け。即撤廃せよ。
- 脱炭素が嘘ならば、安価で安全な石炭火力を安心して使えばいい。
- 以上は新書：杉山 (2024: 田中共著) で述べられている内容です。

単行本「SDGs エコバブルの終焉」宝島社 2024/06/14発刊